

令和5年度 経営発達支援事業 実績・評価

1. 評価期間名 奈井江町商工会 経営発達支援計画評価委員会
2. 開催日時 令和6年6月21日（金）15時00分～15時40分
3. 開催場所 奈井江町商工会
4. 出席者
 - ・奈井江町商工会 会長 太田裕治
 - ・奈井江町商工会 副会長 山口議史
 - ・奈井江町商工会 副会長 三原新
 - ・奈井江町役場産業観光課 課長 石塚俊也
 - ・北門信用金庫奈井江支店 支店長 横山裕之
 - ・北海道商工会連合会組織支援部広域支援課 主査 工藤大幸
 - ・奈井江町商工会 事務局長 首藤繁勝
 - ・奈井江町商工会 経営指導員 阿部隆史

5. 令和5年度奈井江町商工会経営発達支援計画の実績と評価

I. 経営発達支援事業の内容

1) 地域の経済動向調査に関すること

- ・各種経済情報分析結果の公表回数
目標：4回 実績：1回 自己評価：A
中空知・北海道・全国における景況調査の集計・分析と、情報提供を実施
- ・地域経済分析結果の公表回数
目標：1回 実績：1回 自己評価：A
町内及び周辺地域における地域経済の分析と、情報提供を実施
- ・地域経済動向分析結果の公表回数
目標：1回 実績：1回 自己評価：A
物価高騰を含めた地域経済動向の分析と、情報提供を実施

2) 需要動向調査に関すること

- ・商談会等での需要動向調査事業者数
目標：2社 実績：0社 自己評価：B
出展に向けた課題解決や開発支援を優先
- ・物産展での需要動向調査事業者数
目標：2社 実績：0社 自己評価：B
出展に向けた課題解決や開発支援を優先
- ・ふるさと納税での需要動向調査事業者数
目標：2社 実績：0社 自己評価：D
未実施だが、返礼品受領者に向けたアンケート実施に向けて、その手法を検討

3) 経営状況の分析に関すること

- ・経営分析事業者数
目標：20社 実績：20社 自己評価：A
経営自己診断システムなどの経営分析を活用し、経営分析を実施

4) 事業計画策定支援に関すること

- ・DX推進セミナー開催回数
目 標：1回 実 績：0回 自己評価：B
セミナー開催にこだわらず、個別に指導・情報提供を実施
- ・事業計画策定事業者数
目 標：12件 実 績：11件 自己評価：A
事業の持続的な発展につなげるために事業計画の策定支援を実施
- ・事業承継計画策定事業者数
目 標：1件 実 績：2件 自己評価：A
事業承継につなげるための事業承継計画の策定支援を実施

5) 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・フォローアップ対象事業者数
目 標：13件 実 績：11件 自己評価：B
事業計画策定者に対するフォローアップを実施
- ・頻度（延回数）
目 標：52件 実 績：60件 自己評価：A
事業計画策定者に対するフォローアップを密に実施
- ・売上増加率2%以上増加事業者数
目 標：2社 実 績：2社 自己評価：A
フォローアップ対象事業者のうち2社が売上増加率2%以上達成
- ・営業利益率3%以上増加事業者数
目 標：2件 実 績：2件 自己評価：A
フォローアップ対象事業者のうち2社が営業利益率3%以上達成

6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ・商談会展出事業者数
目 標：2社 実 績：0社 自己評価：B
出展に向けた課題解決や開発支援を優先
- ・商談会成約目標件数/者
目 標：1社 実 績：0社 自己評価：B
出展に向けた課題解決や開発支援を優先
- ・物産展出展事業者数
目 標：2社 実 績：0社 自己評価：B
出展に向けた課題解決や開発支援を優先
- ・物産展売上目標額/者
目 標：8万 実 績：0万 自己評価：B
出展に向けた課題解決や開発支援を優先
- ・ITを活用した販路開拓事業者数
目 標：2社 実 績：10社 自己評価：A
PR動画・HP作成支援や、クロスメディアでの販路開拓を支援
- ・ITを活用した販路開拓事業者売上増加率/者
目 標：2% 実 績：4% 自己評価：A
ITを活用した販路開拓事業者が売上増加率4%/者達成
- ・フリーペーパー・観光情報誌掲載事業者数
目 標：14社 実 績：8社 自己評価：B
フリーペーパー掲載を実施し、販路拡大を支援した

- ・フリーペーパー・観光情報誌掲載支援による売上増加額／者
目 標：5万 実 績：6万 自己評価：A
掲載を支援した事業者の平均売上増加額5万円以上達成

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

- ・事務局会議の開催
目 標：4回 実 績：12回 自己評価：A
高い頻度で事務局会議を実施。緊密な連携を実現
- ・事業評価委員会の開催
目 標：1回 実 績：1回 自己評価：A

2) 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ・外部講習会等の積極的な活用
目 標：1（活用する） 実 績：1（活用した） 自己評価：A
北海道商工会連合会、中小企業大学校等が主催する研修会に参加し、知識・ノウハウを習得
- ・OJT制度の導入
目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A
知識やノウハウ習得のためのOJT実施
- ・職員間の定期ミーティングの開催
目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A
週に1回以上の高頻度で開催し、緊密に連携して実施できる体制とした
- ・試食会
目 標：1回 実 績：0回 自己評価：D
特産品開発を行う事業者の掘り起こしが必要であり未実施

3) 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ・北海道商工会連合会等専門支援機関との連携と情報交換
目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A
支援ノウハウ、課題の解決方法について情報交換を実施
- ・日本政策金融公庫との連携と情報交換
目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A
融資制度情報だけでなく、管内動向や支援ノウハウの共有を実施
- ・奈井江町及び地元金融機関との連携と情報交換
目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A
経済動向の情報共有を密に実施

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1) 地域経済の活性化に資する取組に関すること

- ・地域イベント等による地域経済の活性化
目 標：1（実施する） 実 績：1（実施した） 自己評価：A
イベント再開し、地域経済の活性化につなげた
- ・地域情報の共有と情報発信の強化
目 標：1（実施する） 実 績：0（実施できていない） 自己評価：D
計画記載の「地域経済活性化会議」は実施できていないが、関係機関との情報共有は実施

6. 委員からの意見等

- ・ Dとなっている項目については、実態にあっていない項目・目標であると考えることができ、今後計画の見直しが必要な項目といえるのではないか。